

Creation & Innovation

第58期 中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

証券コード：2922

トップメッセージ



株主の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私どもは、どのような時代にあってもお客様を最優先と考え、すべてのステークホルダーの信頼を得るために、食品メーカーとして基本に沿った物づくりが重要であると考えております。

まじめに製品作りに取り組み、お客様に安心・安全でおいしい製品をお届けする。これが当社設立以来、徹底的にこだわり続けている価値観であり、会社の原点、伝統でもあります。そのこだわりを維持し続けていくことが、「この厳しい時代に生き残り、成長していく唯一の道である」という信念のもとに、事業活動を行なっております。

現在「おつまみ市場」は、特に乾珍味の分野におきましては、市場全体がここ数年横ばいの状況にあります。ライフスタイルの急激な変化や消費者の皆様の嗜好が多様化するとともに、「食の安全性」への信頼感も揺らぎはじめ、「おつまみ」への要求も他の食品同様、ますます厳しくなっております。

この厳しい状況に対応するために、当社といたしましては、時代とともに変化するマーケットトレンドとニーズを的確に把握したうえで、事業領域の拡張に取り組み、「新しいマーケットの創造と開拓」を目指しております。

また、今期発表いたしました中期経営計画「チャレンジ to 60」におきまして「おつまみの真のNo.1企業を目指す」ことをビジョンとして掲げ、三年後の当社のあるべき姿を実現させるために、諸施策を実施しているところであります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

株式会社なりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。

ミッション

常に満足していただけるおつまみを提供することで、お客様の笑顔がある、楽しくて豊かな食シーンを創造します。

ビジョン

チャレンジto60を通して、「おつまみ」の真のNo.1企業を目指します。

代表取締役社長
名取三郎

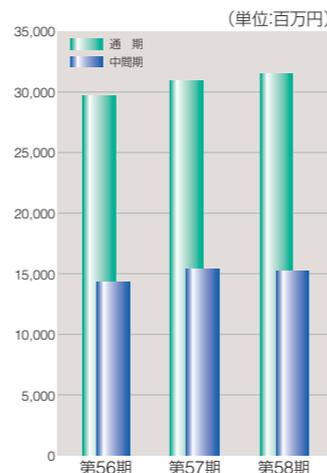
Contents

- トップメッセージ.....1
- 財務ハイライト.....2
- 財務の状況.....3
- 製品紹介.....5
- クローズアップ・トピックス.....7
- 生産・営業・物流拠点.....8
- 会社の概要・企業集団の状況.....9
- 株式の状況.....10

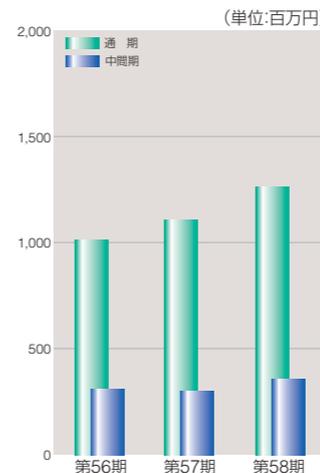
財務ハイライト

連結	第56期中間期 (平成15年9月期)	第57期中間期 (平成16年9月期)	第58期中間期 (平成17年9月期)	前事業年度 (平成17年3月期)
売上高(百万円)	14,356	15,224	15,173	30,805
経常利益(百万円)	311	300	360	1,084
中間(当期)純利益(百万円)	150	162	211	669
1株当たり中間(当期)純利益(円)	11.09	11.98	15.20	48.62
総資産(百万円)	24,061	23,794	23,140	23,888
株主資本(百万円)	11,090	11,577	12,477	12,274
株主資本比率(%)	46.1	48.7	53.9	51.4
1株当たり株主資本(円)	819.34	851.51	896.46	881.30

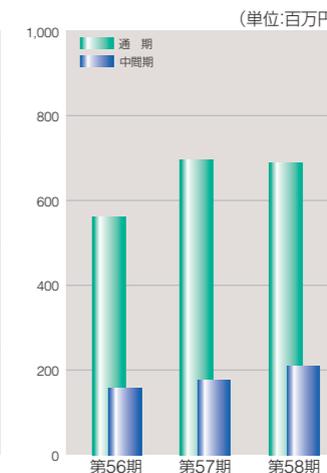
売上高



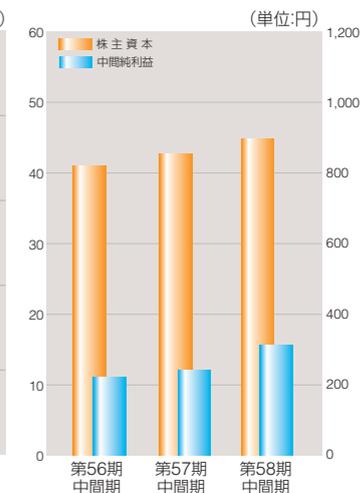
経常利益



中間(当期)純利益



1株当たり中間純利益
1株当たり株主資本



(注) 第58期通期は見直し

財務の状況

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	前中間連結 会計期間末 (平成16年9月30日現在)	当中間連結 会計期間末 (平成17年9月30日現在)	前連結会計 年度末 (平成17年3月31日現在)
流動資産	9,963	10,022	10,830
現金・預金	1,195	998	1,541
受取手形・売掛金	4,157	4,342	4,340
たな卸資産	4,242	4,079	4,320
繰延税金資産	190	381	203
その他	186	229	433
貸倒引当金	△8	△8	△8
固定資産	13,831	13,118	13,058
有形固定資産	12,081	11,608	11,640
無形固定資産	123	127	132
投資その他の資産	1,626	1,381	1,284
資産合計	23,794	23,140	23,888

負債の部

流動負債	8,158	7,402	7,804
支払手形・買掛金	2,738	3,065	2,569
短期借入金	3,248	2,630	2,978
1年以内に返済予定の長期借入金	461	285	417
1年以内に償還予定の社債	100	—	—
未払法人税等	168	55	373
賞与引当金	376	363	298
その他	1,065	1,002	1,166
固定負債	3,898	3,099	3,647
新株予約権付社債	1,454	1,211	1,211
長期借入金	1,228	1,017	1,131
繰延税金負債	353	703	344
役員退職慰労引当金	812	119	908
その他	50	47	51
負債合計	12,056	10,502	11,451

少数株主持分	160	160	162
--------	-----	-----	-----

資本の部

資本合計	11,577	12,477	12,274
資本金	1,248	1,369	1,369
資本剰余金	1,563	1,685	1,685
利益剰余金	8,736	9,299	9,175
その他有価証券評価差額金	30	125	45
自己株式	△1	△2	△2
負債・少数株主持分・資本合計	23,794	23,140	23,888

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前連結会計 年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高	15,224	15,173	30,805
売上原価	10,352	10,316	20,673
売上総利益	4,871	4,856	10,131
販売費及び一般管理費	4,584	4,516	9,069
営業利益	287	339	1,062
営業外収益	55	57	106
営業外費用	41	36	84
経常利益	300	360	1,084
特別利益	—	30	563
特別損失	0	3	441
税金等調整前中間(当期)純利益	300	387	1,207
法人税、住民税及び事業税	147	40	565
法人税等調整額	△11	135	△32
少数株主利益	2	0	4
中間(当期)純利益	162	211	669

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,550	1,685	1,550
資本剰余金増加高	13	—	134
資本剰余金減少高	—	—	—
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,563	1,685	1,685
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	8,649	9,175	8,649
利益剰余金増加高	162	211	669
利益剰余金減少高	75	87	143
利益剰余金中間期末(期末)残高	8,736	9,299	9,175

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,464	240	2,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160	△3	△363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,386	△664	△1,965
現金及び現金同等物の増減額	△82	△427	263
現金及び現金同等物期首残高	829	1,092	829
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	747	665	1,092

単体中間貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	前中間 会計期間末 (平成16年9月30日現在)	当中間 会計期間末 (平成17年9月30日現在)	前事業 年度末 (平成17年3月31日現在)
流動資産	9,050	9,512	10,255
現金・預金	834	601	989
受取手形・売掛金	3,817	3,995	4,066
たな卸資産	3,991	3,776	4,037
繰延税金資産	127	322	148
その他	284	822	1,019
貸倒引当金	△6	△5	△6
固定資産	10,949	10,334	10,114
有形固定資産	8,736	8,525	8,438
無形固定資産	118	123	127
投資その他の資産	2,094	1,685	1,547
資産合計	20,000	19,846	20,369

負債の部

流動負債	6,561	6,242	6,481
支払手形・買掛金	2,491	3,042	2,511
短期借入金	2,318	1,760	2,048
1年以内に返済予定の長期借入金	325	138	300
1年以内に償還予定の社債	100	—	—
未払法人税等	132	35	346
賞与引当金	259	251	207
その他	934	1,015	1,068
固定負債	2,708	2,064	2,517
新株予約権付社債	1,454	1,211	1,211
長期借入金	87	24	49
繰延税金負債	351	700	340
役員退職慰労引当金	805	118	907
その他	9	10	10
負債合計	9,269	8,306	8,999

資本の部

資本合計	10,730	11,539	11,369
資本金	1,248	1,369	1,369
資本剰余金	1,563	1,685	1,685
利益剰余金	7,890	8,362	8,271
その他有価証券評価差額金	29	123	44
自己株式	△1	△2	△2
負債・資本合計	20,000	19,846	20,369

単体中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間 会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	当中間 会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	前事業 年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高	14,136	14,040	28,459
売上原価	9,946	9,957	19,785
売上総利益	4,189	4,082	8,673
販売費及び一般管理費	3,977	3,817	7,811
営業利益	211	264	862
営業外収益	96	95	187
営業外費用	39	37	82
経常利益	268	323	967
特別利益	—	—	558
特別損失	—	2	441
税引前中間(当期)純利益	268	320	1,084
法人税、住民税及び事業税	112	20	521
法人税等調整額	8	132	△34
中間(当期)純利益	148	168	597
前期繰越利益	157	163	157
中間配当額	—	—	67
中間(当期)未処分利益	305	331	687

POINT 1 連結損益計算書 売上高

- 水産加工品
 - ・ソフトいか燻製、いかそうめん、茎わかめ等が好調
 - ・「いか」の一次加工品の売上削減
- 畜肉加工品
 - ・サラミ類、ジャーキー類ともに引き続き好調で増収
- 酪農加工品
 - ・チーズ類の新商品が大きく寄与し増収
- 農産加工品
 - ・新商品投入効果により梅製品が順調
 - ・素材菓子、菓製品が伸び悩み
- 惣菜製品ほか
 - ・鮭フレック等の惣菜製品が減収
 - ・洋風惣菜を扱う子会社株式会社社なとりデリカが増収

POINT 2 連結損益計算書 売上総利益

低粗利商品の取扱い削減や生産コスト削減効果により、売上総利益率は前年同期と同水準を確保。

POINT 3 連結キャッシュ・フロー計算書 投資活動によるキャッシュ・フロー

食品総合ラボラトリーの隣接地購入等で1億22百万円を支払い。

製品紹介

惣菜製品他



焼き巻貝 つぼ焼き風味
味付焼き貝
焼鮭ほぐし

農産加工製品



梅スッキリ種ぬき
梅ぼってり
かりかり梅



干し赤ぶどう
えび味つぶ餅&ビー
むき栗甘栗太郎

酪農加工製品



チーズ鱈
チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈
豆乳チーズ鱈
濃厚チーズ鱈
スモークチーズ

惣菜製品他

1,179百万円 7.8%

農産加工製品

1,414百万円 9.3%

酪農加工製品

1,419百万円 9.4%

畜肉加工製品

2,391百万円 15.8%

水産加工製品

8,767百万円 57.7%

売上高と構成
15,173百万円

水産加工製品



帆立貝柱燻製
チーズかまぼこ
いかの焙り焼き
一夜干風焼あたりめ
ソフトいか燻製



極辛AAA やわらかいか天
鮭とばチップ
おつまみ昆布
茎わかめ梅味

小物



茎わかめ
のしたら旨辛キムチ味
ベンシルカルパス

チルドおつまみ



いかなんこつの味噌焼き
豚口肉の塩だれ焼き

骨まで食べられる魚



さばの味噌煮
かれいの煮付け

株主優待のご案内

毎期末3月31日現在、当社株式を100株以上保有のすべての株主の皆様に対して、上記5製品群にわたる商品から、よりすぐりの商品を贈呈いたしております。

- 100株以上1,000株未満 2,000円相当
- 1,000株以上 3,000円相当

クローズアップ

中期経営計画「チャレンジto60」

～顧客志向に基づく事業基盤の確立と収益力向上への挑戦～

なとりグループは、第58期である2006年3月期から第60期の2008年3月期までの新たな中期経営計画「チャレンジto60～顧客志向に基づく事業基盤の確立と収益力向上への挑戦～」を策定いたしました。

経営目標

- 業界トップとして顧客ニーズにあった「おつまみ事業」の維持・拡大と収益基盤の確立
売上高338億円と経常利益17億円
- 新たな「おつまみ市場」の創出（新素材・新加工技術など）
「チルドおつまみ」を中心に3年以内に売上高10億円
- グローバル体制の確立
仕入、生産、物流など競争優位性を維持するための体制を確立する
- 企業の社会的責任の推進
社会的責任を果たしながら、持続的に成長すること

◇数値目標

(単位：百万円)

	17年3月期 実績	18年3月期 予算	19年3月期 計画	20年3月期 計画
連結	売上高	30,805	31,300	32,600
	経常利益	1,084	1,200	1,420
個別	売上高	28,459	29,000	30,000
	経常利益	967	1,100	1,300
	経常利益率	3.4%	3.8%	4.3%
	経常利益率	3.5%	3.8%	4.4%
	経常利益率	5.0%	5.0%	5.0%

(目標とする経営指標)

- 株主資本利益率 (ROE) 7%
- 売上高経常利益率 5%
- 新商品売上高構成比率 30%

トピックス

2005年秋の新商品



濃厚チーズ鱈



贅沢粗挽きサラミ



チーズinフライ

大日本水産会会長賞 受賞

第16回水産加工品総合品質審査会において、「骨まで食べられるさばの味噌煮」が大日本水産会会長賞を受賞いたしました。



さばの味噌煮

環境マネジメントシステム

食品メーカーとしての事業活動を通じ「人と環境に優しい企業」を目指しております。

本社ビル及び埼玉工場のISO14001認証取得をはじめ、産業廃棄物の削減やCO₂の排出量の削減等環境保全活動を推進しております。

2004年度におけるこれらの取り組みは、「環境報告書2004」として弊社ホームページにて公開しており、本年度版につきましても、現在作成をすすめております。



環境報告書

<http://www.natori.co.jp/kaisha/kankyo/index.html>

生産・営業・物流拠点

(平成17年9月30日現在)

メイホク食品



全珍



埼玉ミート工場・埼玉チーズ工場



埼玉ナッツ工場

生産拠点

- (株)なとり埼玉ミート工場・埼玉チーズ工場
埼玉県久喜市清久町1番6号
- (株)なとり埼玉ナッツ工場
埼玉県久喜市清久町1番7号
- メイホク食品(株)
北海道亀田郡大野町字清水川1220番地1
- (株)函館なとり
北海道亀田郡大野町字清水川1142番地12
- (株)CTF
埼玉県川口市青木1丁目20番16号
- (株)全珍
広島県呉市広末1丁目3番28号

営業拠点

- 営業所全国38カ所

連結子会社

- 国内10社

物流拠点

- 首都圏配送センター
埼玉県加須市大桑2丁目23番1
- 北日本配送センター
北海道札幌市東区19条東2丁目1番4号
- 東北配送センター
宮城県仙台市若林区卸町東2丁目2番7号
- 中部日本配送センター
愛知県名古屋市中川区柳森町803
- 関西配送センター
大阪府東大阪市本庄中1番地16
- 九州配送センター
福岡県大野城市御笠川4丁目7番16号



<http://www.natori.co.jp/>

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金	3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金	中間配当をおこなう場合は、9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会については3月31日その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告の方法	平成17年6月29日開催の定時株主総会において電子公告制度の導入を決議いたしました。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告ホームページ http://www.natori.co.jp/koukoku/index.html 決算公告ホームページ http://www.natori.co.jp/kessan/index.html
1単元の株式数	100株
株式名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京03 (3323) 7111
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店